

令和4年度第5号(通算333号) 一佐西学校だより一

令和4年8月25日発行

·発行責任者〕 ·長崎県立佐世保西高等学校長 城 美博

「長い戦後」を「長かった戦前」にしないために

校長 城 美博

暦の上では、すでに立秋を過ぎましたが、身体で感じる季節はまだまだ夏の真っただ中というと ころではないでしょうか。9月も目の前ですが、「暑いですね」という言葉を交わし合う日々が、も う少し続きそうです。

さて、8月は我が国日本の近現代を考えるうえで、重要な意味を持つ月です。言うまでもなく、1945 (昭和20)年の8月6日に広島に原子爆弾が、9日には長崎にも原子爆弾が投下され、両都市は壊滅的な打撃を受け多くの死傷者を出すという、世界史上初の戦争被爆地となったのです。

加えて、15日にはポツダム宣言を受諾し、中国との戦争から始まった足掛け15年にわたる戦争は終わりました。日本は、連合国の進駐のもと独立国家としての機能を失いましたが、日本国憲法に謳われた「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」などにより、民主主義国家としての歩みを始め、今年で77年という年月を経ました。

本校では8月9日(火)の平和学習において、11時2分に黙とうを捧げ原爆の犠牲者を含む、 すべての戦没者の冥福を祈りました。その中で、本校放送部が制作したドキュメンタリー番組

「Beside you」を放映し、全校生徒が視聴しました。これは、現在も佐世保市に水を供給している上柚木町の「相当ダム」が、第2次大戦中に建設された際、過酷な作業を強いられた米国人捕虜53人と日本人作業員14人が亡くなった歴史を取り上げたもので、「悲惨な歴史は、私たちの傍らにある」という意味を込めて制作されました。私は、本校の放送部がこのような問題意識を持ち、番組を制作してくれたことを嬉しく思うとともに、若い世代の知性と理性に期待する気持ちを一層強くしました。

私は、平和学習冒頭の講話の中で、「日本の近現代の歴史から学ぶ」ということを取り上げました。1868年の明治維新から1945年の敗戦までの77年間という時間を経て、その後2022年の現在に至る77年間という同じ長さの時間を、平和国家・民主主義国家として歩んできた我が国ですが、今年2月のロシアによるウクライナ侵攻などによる現実的な安全保障上の脅威(戦争)、長引くコロナ禍による社会不安(感染症)、安倍晋三元首相の暗殺事件(暴力)などを見るとき、私たちはどのように対処すべきなのか、茫然としてしまいます。

そこで大切なのは、これまでの歴史、特に、我が国の近現代の歴史をよく知ることだと思います。我が国がどのようにして近代という難しい時代を歩んできたか、そのことに大きな学びがあるのです。77年前の敗戦から続いている「長い戦後」を、戦争を引き起こしたり巻き込まれたりすることにより、「長かった戦前」にしては、断じてなりません。

私は、近現代の歴史から学び、今後の在り方を真摯に模索しようとする佐世保西高校の生徒の皆 さんの「知性と理性」を信じ、大きな期待を寄せています。

3年生 校内学習会

57 回生は、7月30日(土)~8月4日(木)まで校内学習会を実施しました。朝から夕方までの長時間に渡る自学を中心とした学習は、ほとんどの生徒が、今までに経験したことのないことだったと思います。7月31日(日)には、ベネッセコーポレーションの田川先生から「執念をもって学習に臨んでもらいたい」と熱い講話をいただきました。また、8月2日(火)本校の城校長から、1つ目に、周囲の友人や、教職員の熱意に影響を受け、学習に励むこと。2つ目に、自分事として捉えること。3つ目に、正念場であることを自覚すること。と激励をいただきました。この学習会は生徒たちにとって、心身ともにキツイことであったかもしれませんが、同時に、自分自身の学習としっかりと向き合うことで、驚くほどの効果を体感した生徒も少なからずいたはずです。生徒たちのしおりの感想の多くに、「自分でもこれだけの学習ができた。」「先生に質問に行くと、基礎基本から丁寧に指導してくれた。」「これからも、分からないところは、質問に行きたい。」「周りの友人の頑張りを見ると、自分も頑張れた。」などの、前向きな感想が多く寄せられていました。受験は決して楽ではありませんが、学年全体で今後も頑張っていきます。

総合的な探究の時間 活動報告・今後の展望

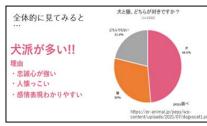
2学年 58 回生は、「SDGs ふるさと創生」の取組が 1 年次の 10 月からスタートし、現在は自分たちが考えた課題解決策の実践を行っています。テーマは「環境問題」について取り組んでいる班が最も多く、「海ゴミ」や、「プラスチック製品を紙製品へ」、「廃棄野菜」、「食品ロス削減」等があります。また、「子育て」をテーマに、保育園で「キッザニア高校生 ver.」のイベントを開催したり、複数の小学校へアンケートを実施して、子どもたちの遊ぶ環境作りを提案しようとしている班もあります。今後 9 月 15 日に、まず 8 ブロックに分かれて代表を決める選考会ののち、10 月 13 日に決勝プレゼンを予定しています。1 年間の取組の成果を楽しみにしています。



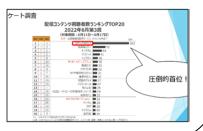




1学年 4月21日、59回生の「総合的な探究の時間」がスタートしました。第1回目のこの時間では、今現在がSociety5.0の到来など、予測困難な時代への変革期であることを認識し、そこで求められる資質・能力について共通理解を図りました。これからは、これまで「ミニ探究」と称し育成していた3つの能力(課題発見・データ分析・課題解決)を踏まえ、59回生に関しては「自分の本当に好きな物事を相手にプレゼンする」といった活動を通し、能力の育成を図っています。9月15日の発表会でそれらを互いに評価し合い、前半の活動は終了となります。9月22日には佐世保市役所より講師を招聘し、佐世保をとりまく様々な課題について、その現状を講演して頂きます。そこから視点を佐世保に移し、ふるさと創生大作戦へと接続していきます。







平和学習について 2年生男子生徒の感想文の一部を紹介します。

校長先生のお話で「今、長く続いている『戦後』が、いつ長く続いていた『戦前の日々』になるかもという話から、今までいつも通りにできたことができなくなるという恐怖を感じ、同時に有難みも感じることができた。放送部の野澤先輩のビデオ『Beside You』や話から、身近な所で悲惨な出来事が起きていることに驚きを隠せなかった。もっと佐世保の歴史や長崎の歴史、戦争について深く知るべきだと思った。最後に吉田先生の話を聞いて、戦時中の日本政府が国際法を軽視していたからこそ、このようなひどいことが起きたのだと知った。現在のウクライナ侵攻に関しても、ロシア政府が同じようなことをしてしまっているんだと考えた。

薬物乱用防止教室

7月21日(木)に薬物乱用防止教室が行われました。講義を通して薬物問題が決して自分たちから遠い世界ものではない、身近にあるものだということを理解してくれたと思います。

講義のプレゼンテーションの中でも言われていましたが、1回の使用でもそれは薬物を「乱用」していることになります。たった一度の使用が自分の将来を、そして自分を大切にしてくれる家族や友人との信頼をバラバラに壊してしまうのです。

薬物の種類について改めて知り、身近に手を出しやすい薬物も増えてきている中、どのよう にして自分を守るのかなどを自身で考える良い機会になったのではないかと思います。

体育祭 ブロック長 決意表明

赤ブロック (3-3・3-4・2-2・2-5・1-2・1-5) ブロック長 長尾奏弦さん (3年4組)

今様々な問題を抱え行き先の見えない社会の中で、曇りがちになる心を明るく照らしたい。 私たち赤ブロックのスローガンは「**耀、燦燦**」。太陽のように明るく活気のあるパフォーマンスを皆さんにお届けします。総合・応援・装飾のすべてで優勝を狙います!応援よろしくお願いします。

青ブロック (3-5・3-6・2-1・2-3・1-3・1-6) ブロック長 浦上浩之介さん (3年6組)

私たち青ブロックは「**飛龍乗雲**」をスローガンとし、青龍のように躍動して会場を青に染め、体育大会を全力で盛り上げます。開催への感謝の気持ちを忘れず、全員で協力して力を充分に発揮し、総合・応援・装飾優勝の三冠を達成できるように精一杯頑張ります!応援よろしくお願いします。

黄ブロック (3-1・3-2・2-4・2-6・1-1・1-4) ブロック長 境志高さん (3年1組)

黄ブロックは、「迅雷風烈」をスローガンとして掲げ、他ブロックを圧倒する稲妻のように明るい笑顔と活気溢れるパワーで、全力で楽しみます!新型コロナウイルスによる制限の中での練習・本番となりますが、みんなで頑張ることができる喜びを感じ、思い出に残るものにします。温かい応援よろしくお願いします。

部活動結果報告

<陸上部>

○令和 4 年度佐世保地区高等学校新人陸上競技大会

女子総合 第3位

 女子 100m
 第1位
 小川久瑠美(2年)
 女子 200m
 第1位
 小川久瑠美(2年)

 女子走高跳
 第1位
 升水渚紗(2年)
 女子走幅跳
 第2位
 山口実来(2年)

女子三段跳 第1位 山口実来(2年)

女子 4×100mR 第1位 北島永惶(2年)、小川久瑠美(2年)、升水渚紗(2年)、中溝咲希(1年) 女子 4×400mR 第3位 升水渚紗(2年)、小川久瑠美(2年)、中溝咲希(1年)、金子ひかり(2年)

男子総合 第2位

男子 400m 第 2 位 吉原吏亮(2 年)、 第 3 位 大谷朔乎(2 年)

男子 3000 S C 第 1 位 寺﨑太一(2 年)

 男子走高跳
 第1位
 関戸要(2年)
 男子走幅跳
 第1位
 大谷朔乎(2年)

 男子三段跳
 第1位
 武井陸哉(2年)
 男子砲丸投
 第2位
 飯田隼(2年)

<書道部> ○第21回長崎県高等学校文化連盟書道部門大会【揮毫大会】

優秀賞 角田亜矢(1年)九州大会(佐賀)推薦、 塚本初音(1年)

<写真部> ○第 46 回全国高等学校総合文化祭とうきょう総文 2022 写真部門 奨励賞 北村由依菜(3 年生)

< 吹奏楽部>○令和 4 年度第 66 回九州吹奏楽コンクール予選長崎県吹奏楽コンクール 銀賞





≪8月下旬~9月中旬までの主な行事予定≫

27	土	GTEC
9/1	木	体育大会予行
2	金	代休 (9/3)
3	土	体育大会準備
4	日	体育大会
5	月	代休 (9/4)
8	木	代休 (9/10)
9	金	午後 西高祭設営
10	土	西高祭(1日目)
11	日	西高祭(2日目)、第2回オープンスクール
12	月	代休 (9/12)
14	水	各種委員会 (後期委員長決め)
15	木	ふるさと創生学年発表会 (2年)
		総探発表会(1年)
17 • 18	土日	対外マーク (3年)
19	月	敬老の日 コモンホール学習会
22	木	前期期末考査時間割発表
		部活動禁止(~10/3) 後期各種専門委員会

新型コロナウイルス感染拡大にともない、

今後行事が変更になる場合があります